

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) マックスバリュ西日本株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒732-0814 広島県広島市南区段原南一丁目3-52 広島段原ショッピングセンター5階	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	56	業種名：各種商品小売業		
事業の概要	食品スーパーマーケット、ディスカウントストアの経営				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	マックスバリュイオンタウン水島店		岡山県倉敷市水島高砂町3番35号	
	②	ザ・ビッグ平島店		岡山県東区東平島1001-1	
	③	ザ・ビッグ和気店		岡山県和気郡和気町福富442番1	
	④	ザ・ビッグ岡山一宮店		岡山県岡山市北区檜津567	
	⑤	ザ・ビッグ連島店		岡山県倉敷市連島町鶴新田1140-1	
⑥	ザ・ビッグ倉敷店		岡山県倉敷市笹沖1339番地1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 11 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 29 )年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	17,374 t CO <sub>2</sub>	17,301 t CO <sub>2</sub>	16,756 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29 )年度排出量
	①	マックスバリュイオンタウン水島店	2,881 t CO <sub>2</sub>
	②	ザ・ビッグ平島店	1,754 t CO <sub>2</sub>
	③	ザ・ビッグ和気店	1,523 t CO <sub>2</sub>
	④	ザ・ビッグ岡山一宮店	1,569 t CO <sub>2</sub>
	⑤	ザ・ビッグ連島店	1,762 t CO <sub>2</sub>
⑥	ザ・ビッグ倉敷店	1,731 t CO <sub>2</sub>	

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 ( 5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 29 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	9.7 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延床面積(59,718m <sup>2</sup> )	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 29 )年度	目標年度
		0.320 t CO <sub>2</sub> /( m <sup>2</sup> )	0.289 t CO <sub>2</sub> /( m <sup>2</sup> )	0.310 t CO <sub>2</sub> /( m <sup>2</sup> )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

ザ・ビッグ倉敷店のスクラップ&ビルドにおいて省エネ機器導入等を実施した。冷蔵冷凍ケースの吸込口及び吹出口(ハニカム)の清掃頻度を高めた。

**【推進体制】**

ISO14001の取組みを中心に従業員への教育をすすめた。特に電気使用量削減に対する取組みでは店舗毎に目標設定と進捗管理を実施し、後方へ実績掲示し「見える化」を実施し従業員の意識を高める体制をとった。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全店	(29年度実施分) 冷凍冷蔵ケースの清掃（空調の負荷軽減）。冷凍冷蔵ケースの適正温度基準の指示。ISOを利用した電気使用量の管理。  (今後実施予定分) 電気使用量の削減を更に取り組む。 ・荷受け場の自動シャッターの時間帯によって手動化させる。 ・今まで不十分であったエアコンや冷蔵機器のフィルター清掃

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

レジ袋辞退率の向上に対する取り組みとして、平成29年はお客様への積極的な声掛けの他に、自社の35周年記念企画において従業員全員へマイバッグの配布（プレゼント）を実施し、従業員自らマイバッグを使用すること及び従業員が使用することによるお客様への啓蒙活動の実施を行った。